



D-Remote

ユーザーガイド

目次

1. はじめに	2
1.1. ご注意	2
1.2. お知らせ	2
2. ソフトウェアの動作環境	3
3. セットアップ	4
3.1. D-Remoteのダウンロード、インストール	4
3.2. Bluetooth®ペアリングをする	4
3.3. Bluetooth接続を切断する	7
4. 各部の名称と機能	8
5. スピーカー接続画面	9
5.1. まとめて接続画面	10
6. スピーカーリスト画面	11
6.1. スピーカーごとの表示内容	12
6.2. ミキサー画面	14
6.3. スピーカー設定画面	35
7. スピーカー監視画面	44
7.1. スピーカーごとの表示内容	45
7.2. メニュー画面	46
8. RTA画面	53
8.1. RTA設定画面	54
9. アプリ設定画面	55
10. 通知画面	56
10.1. ファームウェアアップデート画面	57

1. はじめに

D-Remoteは、スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末からBluetoothを通じてヤマハ製スピーカーをリモートコントロールするためのアプリケーションソフトウェアです。スピーカーのメーターやインジケータをモニターしたり、パラメーターをコントロールしたりすることができます。

1.1. ご注意

- ・ 本ソフトウェアおよびユーザーガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ 本ソフトウェアおよびユーザーガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ 本ソフトウェアおよびユーザーガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 本ユーザーガイドの記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。

1.2. お知らせ

- ・ このユーザーガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ iPad、iPhone、App Store、iOSおよびiPadOSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・ Android、Google Playは、Google LLCの商標です。
- ・ 本書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- ・ アプリケーションソフトウェアは、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。最新のアプリケーションソフトウェアは、App StoreもしくはGoogle Playからダウンロードできます。



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ヤマハ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

2. ソフトウェアの動作環境

D-Remoteは、以下のOSがインストールされたモバイル端末で動作します。

- iOSが動作するApple社製iPhone、iPadOSが動作するApple社製iPad。
- Android OSが動作するモバイル端末。

NOTE

最新の動作確認済みデバイスとOSバージョンの情報は、下記のウェブサイトにてご確認ください。
<https://www.yamahaproaudio.com/>

3. セットアップ

3.1. D-Remoteのダウンロード、インストール

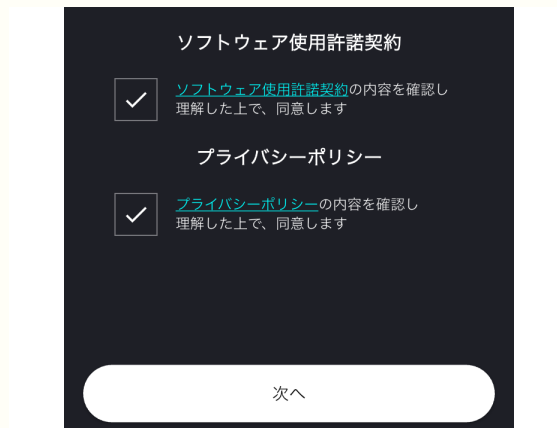
1. App StoreまたはGoogle Playから「D-Remote」を検索しダウンロードします。
2. 画面の指示に従ってD-Remoteアプリをインストールします。

3.2. Bluetooth®ペアリングをする

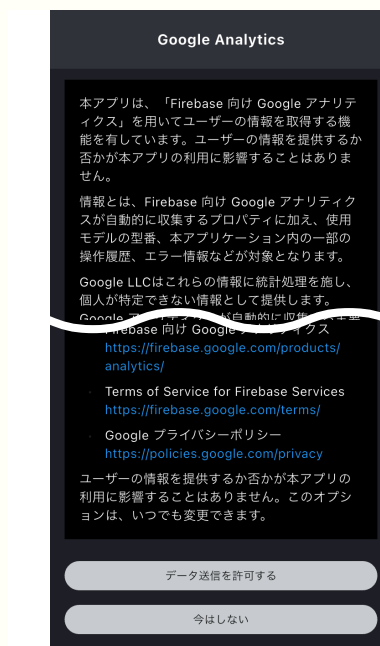
1. 接続したいスピーカーのBluetooth設定をオンにします。
2. モバイル端末のBluetooth機能をオンにします。
3. モバイル端末のD-Remoteのアイコンをタップし、起動します。

NOTE

- 初回起動時に、ソフトウェア使用許諾契約とプライバシーポリシーへの同意を求められます。同意しないとアプリは使用できません。



- 初回起動時に、Google Analyticsへのデータ送信の許可を求められます。この設定は後でアプリの設定から変更できます。



- 初回起動時に「Bluetooth使用の許可」をONにしなかった場合、スピーカー本体と接続できないことがあります。その場合は使用している端末のBluetoothの設定をもう一度行ってください。



- 起動時にスピーカー接続画面が表示され、スピーカーリスト画面に移動するとマイクへのアクセス許可を求められます。後からモバイル端末の設定でアクセス許可/不許可を変更できます。
- スピーカーリスト画面では、他のモバイル端末とすでに接続しているスピーカーは表示されません。
- 起動時にモバイル端末での通知の許可を求められます。後からモバイル端末の設定で通知許可/不許可を変更できます。

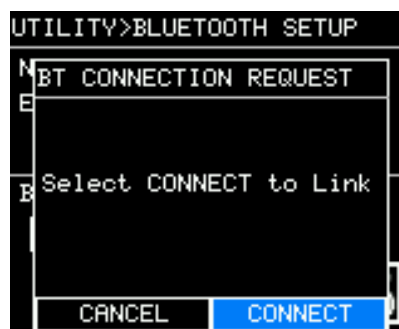
アプリを起動するとロゴマークが表示されます。



4. [スピーカー接続]画面が表示されたら、接続したいスピーカーをタップし、[接続]をタップします。



5. 初回のみスピーカー本体の画面で[CONNECT]を選択します。



初回接続時はパスワードを設定する画面が表示されますので、4文字から16文字のパスワードを入力し、[次へ]をタップします。



6. パスワードを入力し[確認]をタップします。

 NOTE

- パスワードを設定しないと接続できません。
- 設定したパスワードを忘れてしまった場合は、スピーカーを初期化してください。初期化の方法は、スピーカー本体の取扱説明書または本書の[スピーカーを初期化する](#)をご参照ください。
- パスワードを設定したスピーカーを次回接続するときは、[手順5](#)の操作は不要です。
- スピーカーの電源を入れた直後からしばらくの間は、[手順5](#)の画面が表示されません。その場合は[手順5](#)の操作は不要です。
- 設定したパスワードを変更したい場合は、[パスワードを変更する](#)をご参照ください。
- 同時に接続できるスピーカーの台数は、端末の性能によって異なります。

パスワード保護について

本機能は、ライブ会場などで第三者がスピーカーに不正に接続し、操作することを防止するために設けられています。

また、遠隔操作による不正接続を防ぐため、パスワード設定時には原則として本体での操作が必要となります。

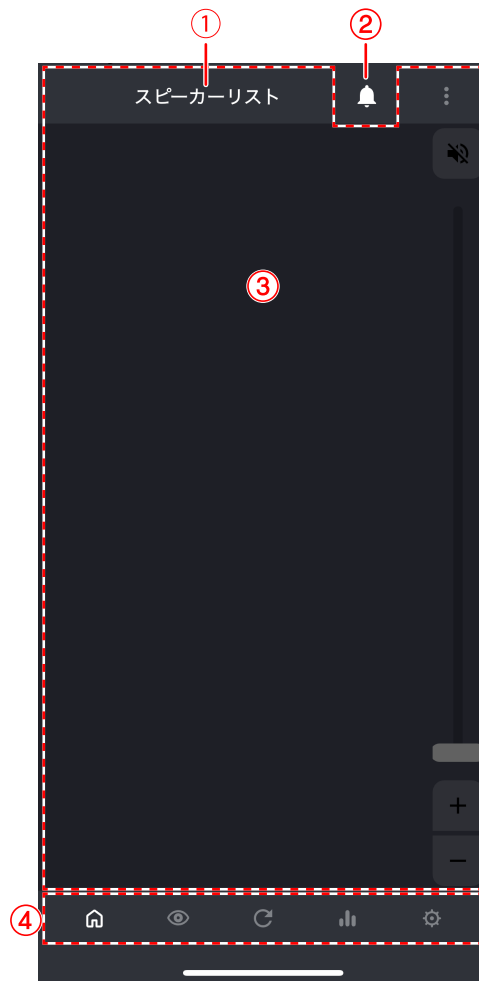
これにより、セキュリティを強化し、安心してご利用いただけます。

3.3. Bluetooth接続を切断する

D-Remoteとスピーカーの接続を切断するには、次のいずれかの方法で切断してください。

- D-Remoteのスピーカー接続画面から切断する。
[切断]ボタンをタップすると切断されます。
- スピーカー本体の接続中の画面から切断する。
BLUETOOTH設定画面でBluetooth接続オフを選択すると接続が切断されます。

4. 各部の名称と機能



① 画面名

②  : 通知ボタン
タップすると、[通知画面](#)を表示します。

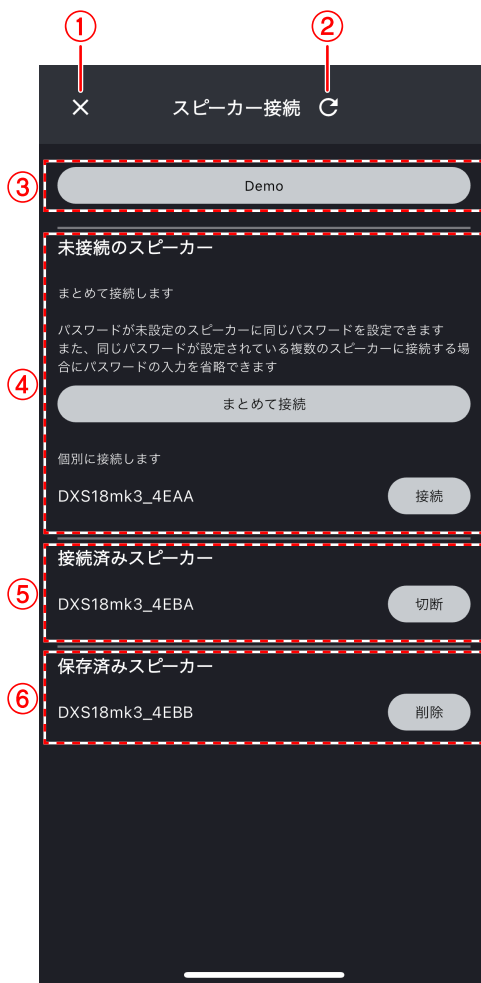
③ 表示エリア

④ 画面の切り替え

D-Remoteの画面を切り替えます。

-  : [スピーカーリスト画面](#)
-  : [スピーカー監視画面](#)
-  : [スピーカー接続画面](#)
-  : [RTA画面](#)
-  : [アプリ設定画面](#)

5. スピーカー接続画面



① **✕** : 閉じるボタン

タップすると、スピーカー接続画面を閉じます。

② **↻** : リフレッシュボタン

タップすると、接続可能なスピーカーを再検索します。

③ **Demo**ボタン

タップすると、デモモードを開始します。

④ **未接続のスピーカー**

D-Remoteと接続されていないスピーカーを表示します。

スピーカー名の右側にある[接続]ボタンをタップして、D-Remoteとスピーカーを接続します。

- ・ [まとめて接続]ボタンをタップすると、[まとめて接続画面](#)を表示します。

⑤ **接続済みスピーカー**

現在接続中のスピーカーを表示します。

スピーカー名の右側にある[切断]ボタンをタップするとD-Remoteとスピーカーの接続が切断されます。

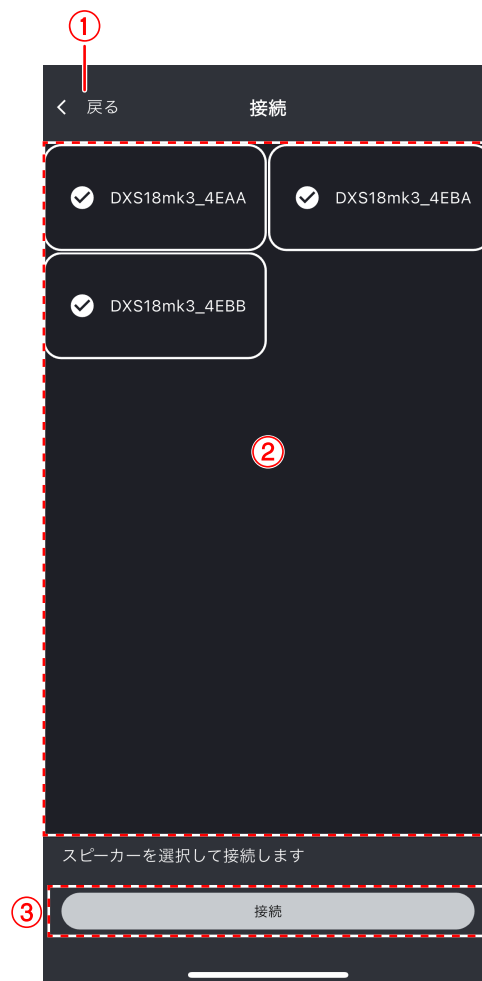
 **NOTE**

過去に接続したことがあるスピーカーで、パスワードが変更されていない場合は自動的に接続します。

⑥ 保存済みのスピーカー

過去に接続したことがあり、スピーカー本体が接続可能な範囲にないスピーカーを表示します。スピーカー名の右側にある[削除]ボタンをタップすると表示が削除されます。

5.1. まとめて接続画面



① 戻る

タップすると、スピーカー接続画面に戻ります。

② スピーカー一覧

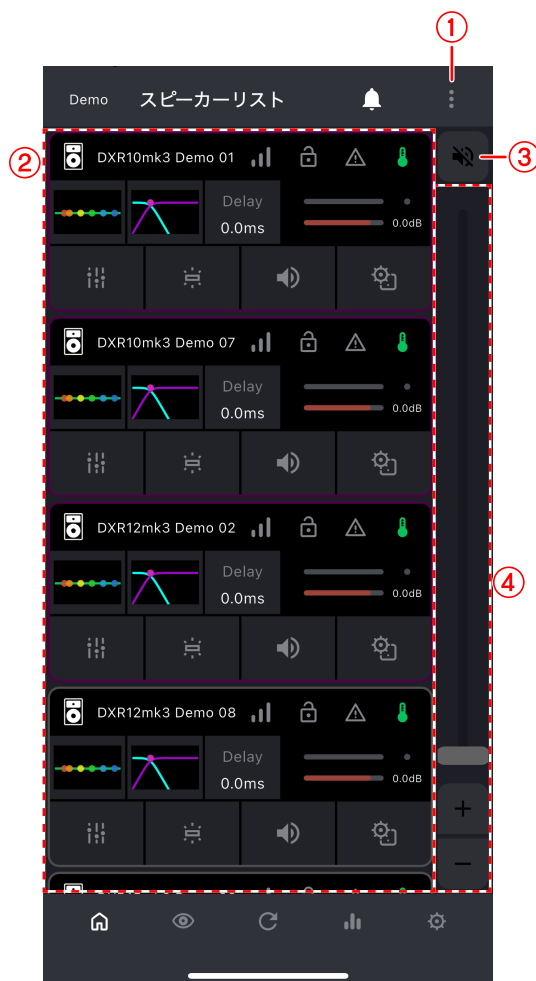
接続可能なスピーカーを一覧で表示します。接続したいスピーカーをタップして選択します。

③ 接続

タップすると選択したスピーカーを接続します。

6. スピーカーリスト画面

スピーカーリスト画面では、Bluetoothペアリングが完了して操作可能な状態（オンライン）になっているすべてのスピーカーを一覧して確認できます。また、複数台で連動してメインレベルを調整することもできます。



① メニューボタン

タップすると、メニュー画面を表示します。[メニュー画面](#)をご参照ください。

② スピーカーリスト

D-Remoteと接続されているスピーカーを表示します。

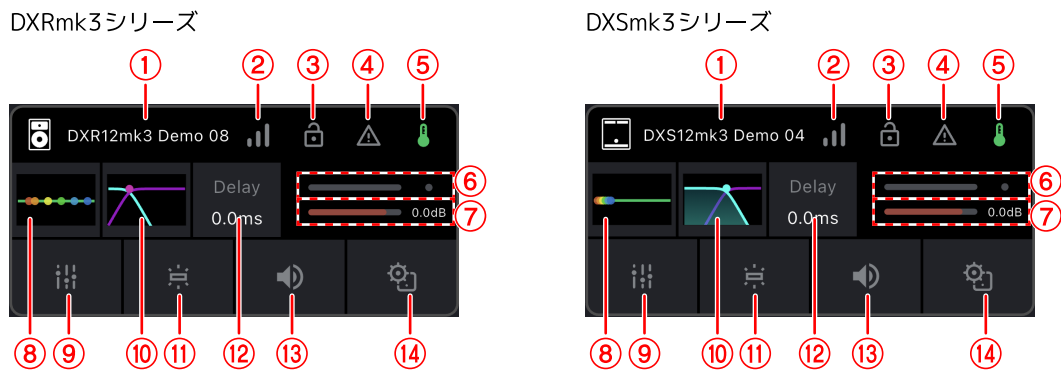
③ : ミュートボタン

タップすると、ミュートをオン/オフします。選択しているスピーカー単独または複数台で連動操作できます。

④ メインレベルフェーダー/ボタン

フェーダーまたはボタンを操作してメインレベルを設定します。選択しているスピーカー単独、または選択しているグループに含まれるスピーカー複数进行操作できます。

6.1. スピーカーごとの表示内容



① スピーカー名

スピーカー名を表示します。

② : Bluetooth電波

Bluetoothの電波の強さを表示します。

③ : パネルロック

スピーカーのパネルロック状態を表示します。

④ : アラート

スピーカーのアラート通知の有無を表示します。[通知画面](#)をご参照ください。

⑤ : 温度

スピーカーの温度の状態を表示します。

⑥ 出力レベルメーター、LIMITインジケーター

スピーカー出力の音量をリアルタイムに表示します。インジケーターはリミッターがかかったときに、赤で点灯します。

⑦ 出力レベル設定

スピーカー出力の出力レベル設定を表示します。

⑧ 、 : 6バンドEQボタン

タップすると、Mainチャンネルの[6バンドEQ画面](#)を表示します。

⑨ : ミキサーボタン

タップすると、各スピーカーの[ミキサー画面](#)を表示します。

⑩ 、 : X-Overボタン

タップすると、MainチャンネルのX-Over画面 ([X-Over HPF](#)または[X-Over LPF](#)) を表示します。

⑪ : 識別ボタン

タップすると、選択しているスピーカー本体のパネルがしばらく点滅します。

⑫ : Delayボタン

タップすると、Mainチャンネルの[Processing画面](#)を表示します。

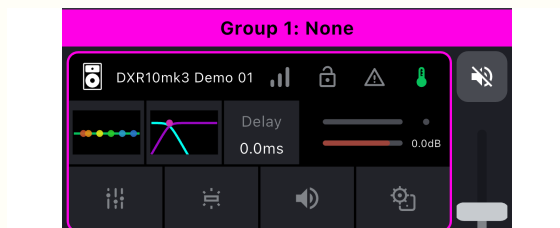
⑬ : ミュートボタン

タップすると、ミュートをオン/オフします。

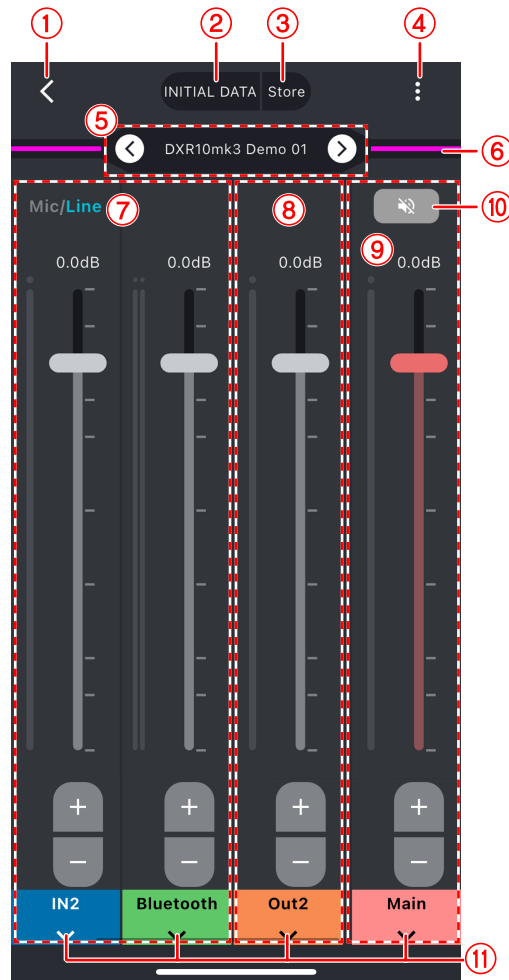
- ⑭  : **スピーカー設定ボタン**
タップすると、**スピーカー設定画面**を表示します。

 **NOTE**

グループに登録されているスピーカーをタップすると、画面上部にグループ名が表示され、スピーカーが枠で囲まれます。[グループ作成画面](#)をご参照ください。



6.2. ミキサー画面

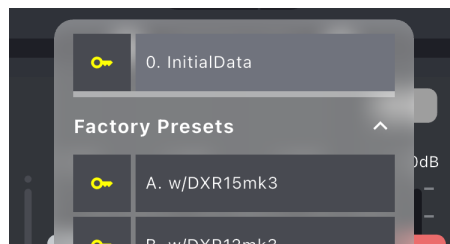


① 戻るボタン

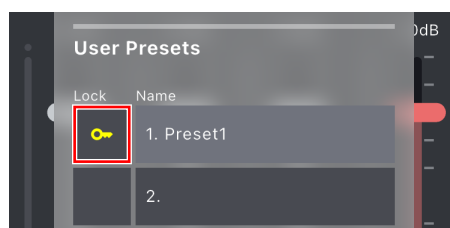
タップすると、前の画面に戻ります。

② プリセット

タップすると、保存されているプリセットが表示されます。読み出したいプリセットをタップして読み出します。



- プリセットの[Lock]欄をタップするたびにロック（鍵アイコンが表示）/ロック解除（鍵アイコンが非表示）が切り替わります。



- INITIAL DATAとFactory Presetsはロック解除できません。

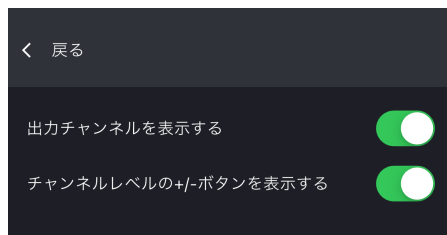
③ Storeボタン

タップすると、Store画面を表示します。現在の設定に名前を付けてスロットに保存できます。



④ メニューボタン

ミキサー画面のメニューを表示します。



- ・ **出力チャンネルを表示する**：有効にすると、出力チャンネルをミキサー画面に表示します。
- ・ **チャンネルレベルの+/-ボタンを表示する**：有効にすると、各チャンネルに+/-ボタンを表示します。

⑤ スピーカー名、◀ / ▶ ボタン

スピーカー名を表示します。◀ / ▶ ボタンで表示するスピーカーを切り替えます。

⑥ グループ表示

スピーカーがグループに登録されている場合は、グループに設定されている色の線が表示されます。

⑦ 入力チャンネルフェーダー、メーター、PEAKインジケーター

入力チャンネルの音声信号の出力レベルを設定します。メーターは入力チャンネルの入力レベルをリアルタイムに表示します。

⑧ 出力チャンネルフェーダー、メーター、PEAKインジケーター

出力チャンネルの音声信号の出力レベルを設定します。メーターは出力チャンネルの出力レベルをリアルタイムに表示します。

⑨ Mainチャンネルフェーダー、メーター、LIMITインジケーター

Mainチャンネル（スピーカー本体）の音声信号の出力レベルを設定します。メーターはMainチャンネルの出力レベルをリアルタイムに表示します。

⑩ ミュートボタン

タップすると、Mainチャンネルのミュートをオン/オフします。

⑪ 詳細設定ボタン

タップすると、チャンネルの詳細設定画面を表示します。

チャンネルの詳細設定画面は、チャンネルの種類（入力または出力）によって表示する内容が異なります。

■ 入力チャンネルの詳細設定画面

	DXRmk3シリーズ			DXSmk3シリーズ		
	IN1	IN2	Bluetooth	IN1	IN2	Bluetooth
HPF + 4バンドEQ	-	✓	-	-	-	-
Ducker	✓	-	✓	-	-	-
FBS	✓	✓	-	-	-	-
Link Mode	✓	✓	✓	✓	✓	✓

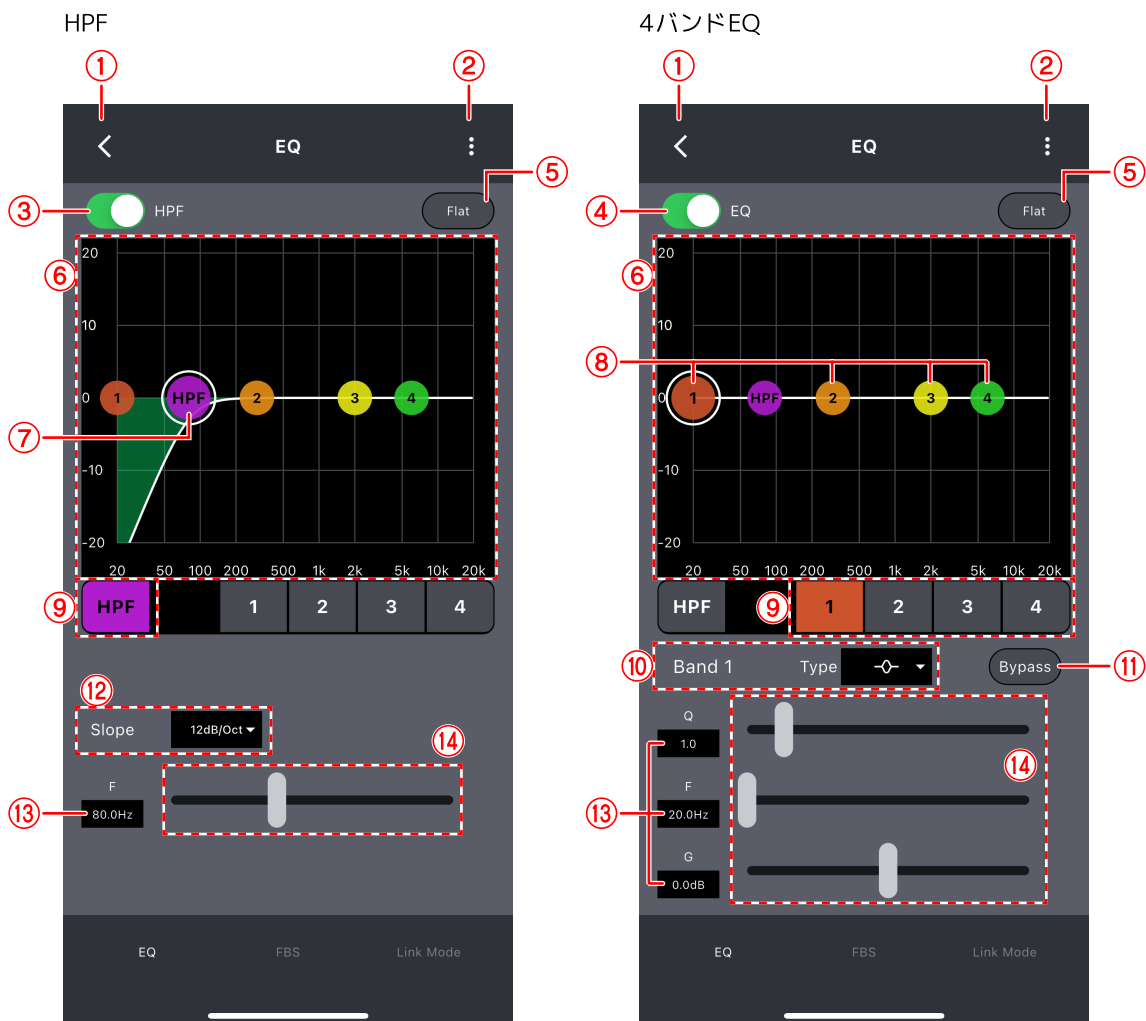
■ 出力チャンネルおよびメインチャンネルの詳細設定画面

	DXRmk3シリーズ			DXSmk3シリーズ		
	Out1	Out2	Main	Out1	Out2	Main
6バンドEQ	-	-	✓	-	-	✓
Delay	-	✓	-	✓	✓	-
X-Over HPF	-	-	✓	✓	✓	-
X-Over LPF	-	✓	-	-	-	✓
Processing	-	-	✓	-	-	✓

6.2.1. HPF + 4バンドEQ



DXRmk3シリーズのINPUT 2端子に入力される音声信号に、HPFと4バンドEQを設定します。

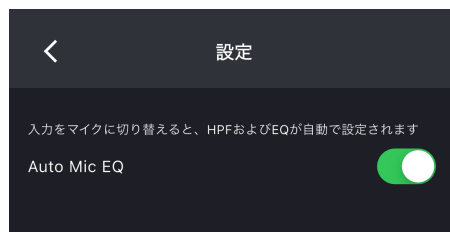


① 戻るボタン

タップすると、前の画面に戻ります。

② メニューボタン

タップすると、設定画面が表示されます。



- **Auto Mic EQ** : 有効にすると、スピーカー本体の[MIC/LINE]スイッチで[MIC]を選択したときに、自動でHPFおよびEQを設定します。

③ [HPF]スイッチ

ハイパスフィルターのオン/オフを設定します。

④ [EQ]スイッチ

イコライザーのオン/オフを設定します。

⑤ [Flat]ボタン

タップすると、すべてのバンドのゲインを0に設定します。

⑥ EQグラフ

特性をグラフに表示します。

⑦ HPFハンドル

- ・ **ドラッグ**：ハンドルをドラッグすると、ハイパスフィルターのカットオフ周波数を調整します。

⑧ バンドハンドル

- ・ **ドラッグ**：EQグラフ上でハンドルをドラッグすると、Qパラメーター以外の各パラメーターを調整します。
- ・ **ピンチイン/ピンチアウト**：EQグラフ上でピンチイン/ピンチアウトすると、Qパラメーターを調整します。

⑨ バンド選択ボタン

パラメーターを調整するバンドを選択します。

⑩ EQタイプリストボックス

各バンドに設定するフィルターのタイプを選択します。

⑪ [Bypass]ボタン

各バンドでバイパスするかしないかを設定します。ボタンをクリックして点灯させたバンドをバイパスします。

⑫ スロープリストボックス

ハイパスフィルターに設定するスロープを選択します。

⑬ パラメーター現在値表示

各パラメーターの現在の値を表示します。タップすると、数値を直接入力できます。

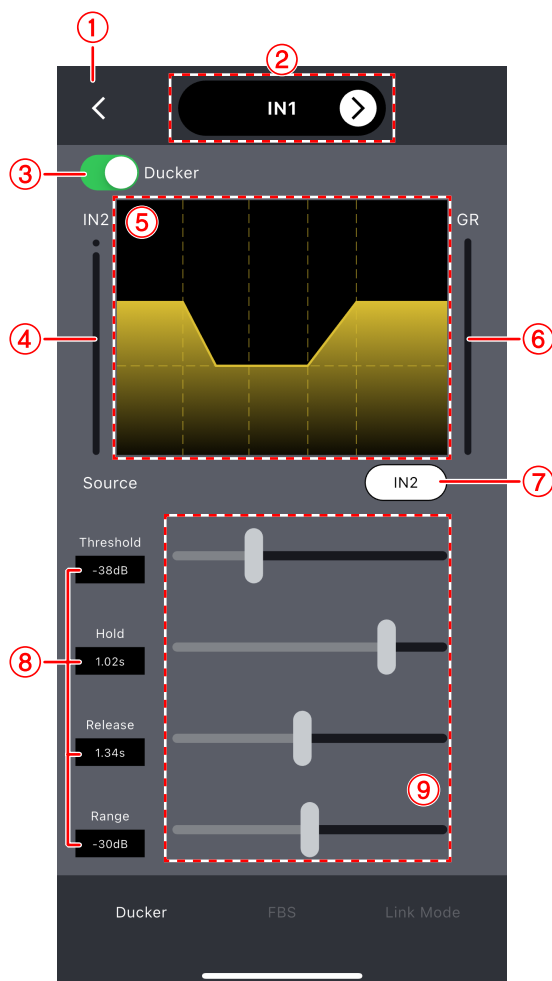
⑭ スライダー

スライダーをドラッグして各パラメーターの値を変更します。

6.2.2. Ducker



DXRmk3シリーズのINPUT 2端子に音声が入力されている間、INPUT 1端子やBluetoothの音量を下げます。



① 戻るボタン

タップすると、前の画面に戻ります。

② チャンネル表示、◀ / ▶ ボタン

チャンネル名を表示します。◀ / ▶ ボタンで表示するチャンネルを切り替えます。

③ [Ducker]スイッチ

Duckerのオン/オフを設定します。

④ [IN2]メーター

スピーカーのINPUT 2端子への入力レベルをリアルタイムに表示します。

⑤ Duckerグラフ

Ducker設定をグラフに表示します。

⑥ [GR]メーター

ゲインリダクション量を表示します。

⑦ [IN2]ボタン

INPUT 2の音声信号のオン/オフを設定します。

⑧ パラメーター現在値表示

各パラメーターの現在の値を表示します。タップすると、数値を直接入力できます。

⑨ スライダー

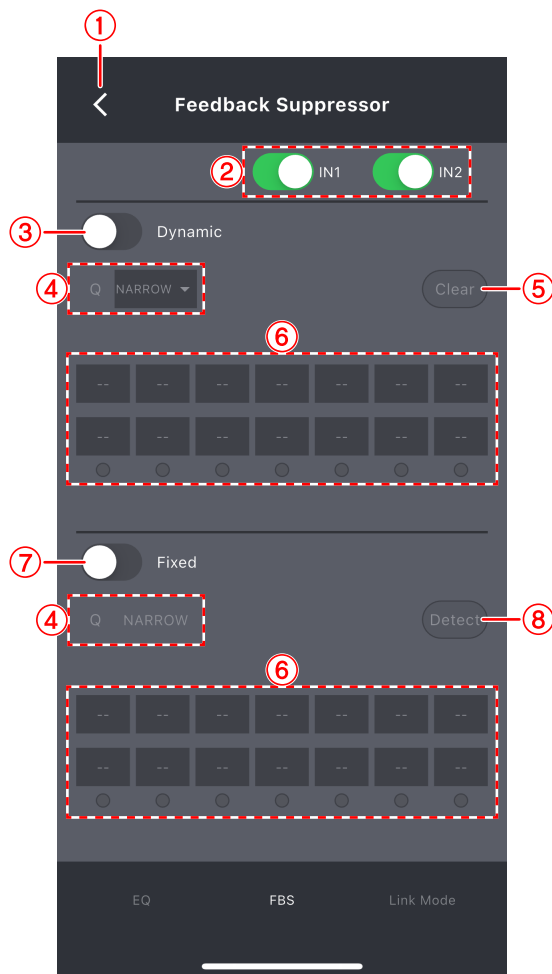
スライダーをドラッグして各パラメーターの値を変更します。

6.2.3. FBS



FBS（フィードバックサプレッサー）とは、スピーカーから出力された音声が入りに回り込むことで生じる不快なハウリングを防ぐ機能です。

- Dynamicモード
使用中に発生したハウリングをリアルタイムで見つけて抑えます。ハンドマイク向けです。
- Fixedモード
事前にハウリングが発生しやすいポイントにFBSを設定します。固定マイク向けです。



① 戻るボタン

タップすると、前の画面に戻ります。

② [IN1]スイッチ、[IN2]スイッチ

有効にすると、IN1またはIN2にFBSを設定します。

③ [Dynamic]スイッチ

Dynamicモードのオン/オフを設定します。

④ Qリストボックス

DynamicモードまたはFixedモードでかけるフィルターのQ（効果の範囲の広さ）を、NARROWまたはWIDEで設定します。

- ・ **NARROW**：音質への影響が小さく、音楽再生や生楽器の演奏などに向いています。ハウリングを除去するバンドひとつあたりのフィルターのQが狭いため、ハンドマイクなどマイクとスピーカーの位置が変化する環境では、多くのバンドが必要となることがあります。
- ・ **WIDE**：音質への影響がNARROWと比べて大きく、スピーチなどに向いています。ハウリングを除去するバンドひとつあたりのフィルターのQが広いため、ハウリングを除去しやすいです。

⑤ [Clear]ボタン

タップすると、設定されているフィルターをすべて解除します。

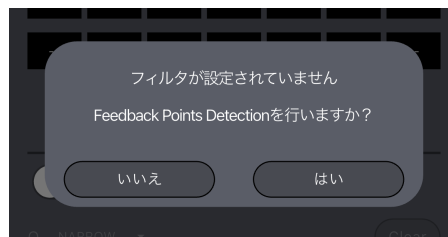
⑥ Feedbackポイントリスト

フィルターがかかっている周波数と減衰量が表示されます。

⑦ [Fixed]スイッチ

Fixedモードのオン/オフを設定します。

- ・ フィルターが設定されていない場合は確認画面が表示されます。[はい]をタップすると、[Feedback Points Detection画面](#)を表示します。



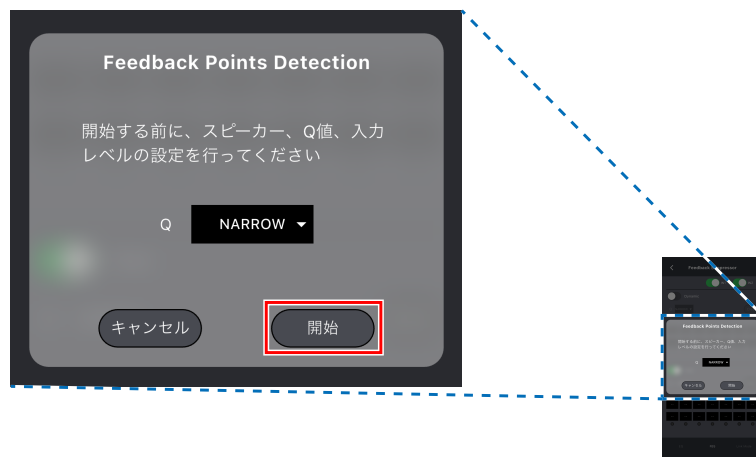
⑧ [Detect]ボタン

タップすると、[Feedback Points Detection画面](#)を表示します。

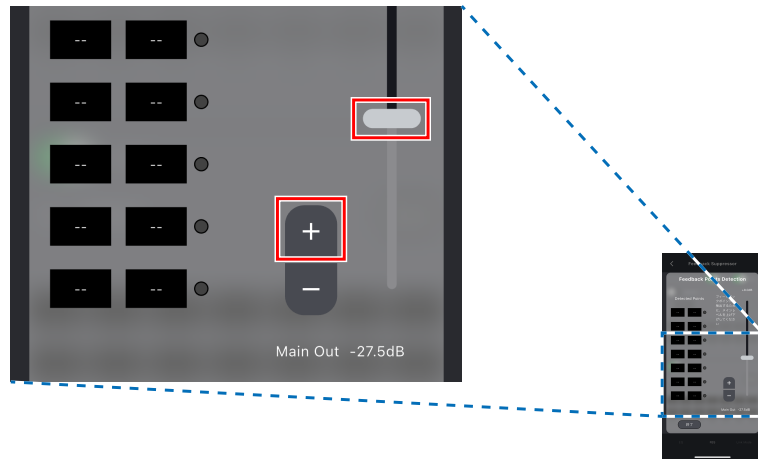
■ Feedback Points Detection画面

Fixedモードの事前設定を行います。ハウリングの原因となる周波数を事前に検出するための機能です。

1. [開始]をタップしてFeedbackポイント検索を実行します。

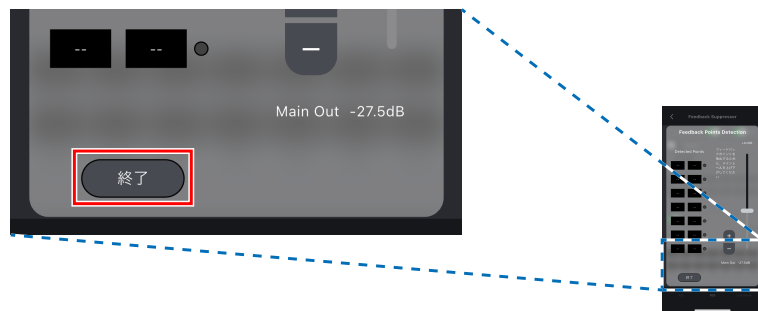


2. フェーダーをゆっくり上方向に動かす、または[+]をタップして、スピーカーから出力される信号レベルを少しずつ上げます。



- 。信号レベルを上げると、ハウリングが発生し始めますが、自動的に抑えられます。抑えたときのフィルターの周波数とゲインは保存され、画面に表示されます。

3. [終了]をタップしてDETECT機能を停止します。



バンドごとに検出された周波数と設定したゲイン値が表示されます。

NOTE

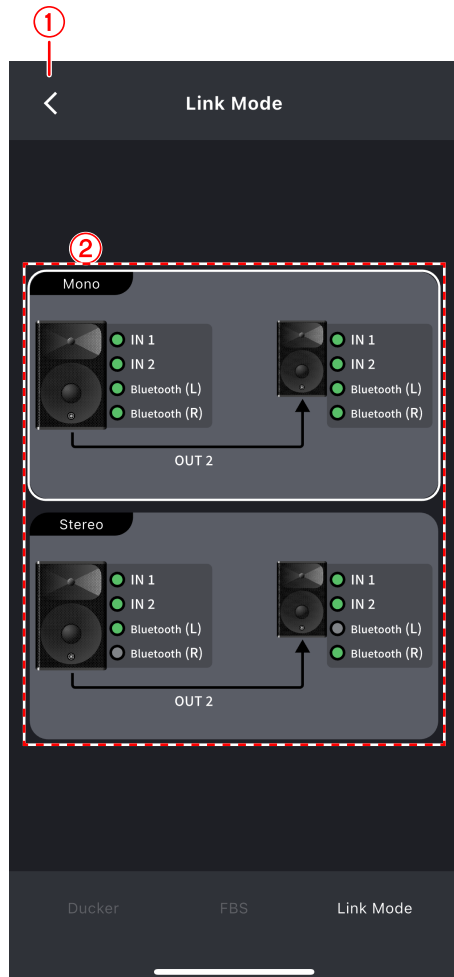
- DETECT機能は何度でも実行できますが、前回までの測定結果は引き継がれず、実行するたびに最新の結果に上書きされます。
- ③のDynamicモードがオンになっている場合、自動的にDynamicモードをオフに切り替えます。DETECT機能の処理が終了すると、Dynamicモードは自動的にオンに戻ります。

6.2.4. Link Mode

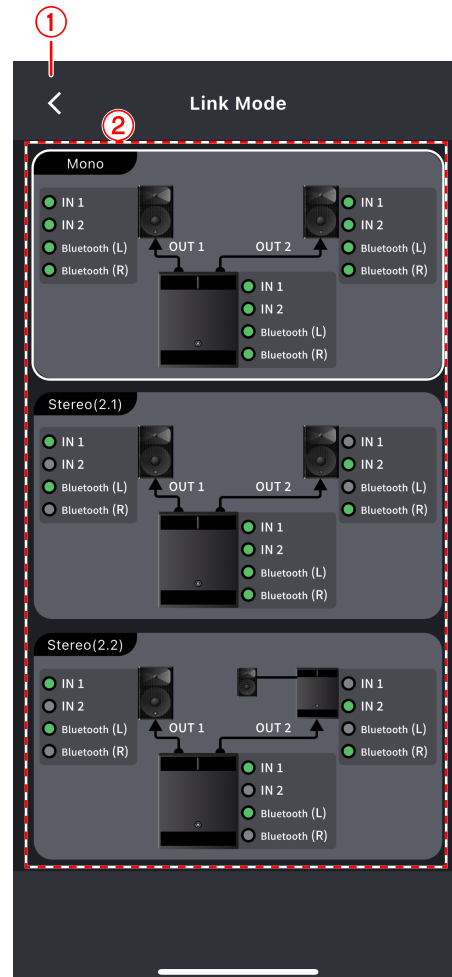


スピーカー同士の接続状況と入力チャンネルに合わせて、リンクモード（モノ、ステレオ）を設定します。

DXRmk3シリーズ



DXSmk3シリーズ



① 戻るボタン

タップすると、前の画面に戻ります。

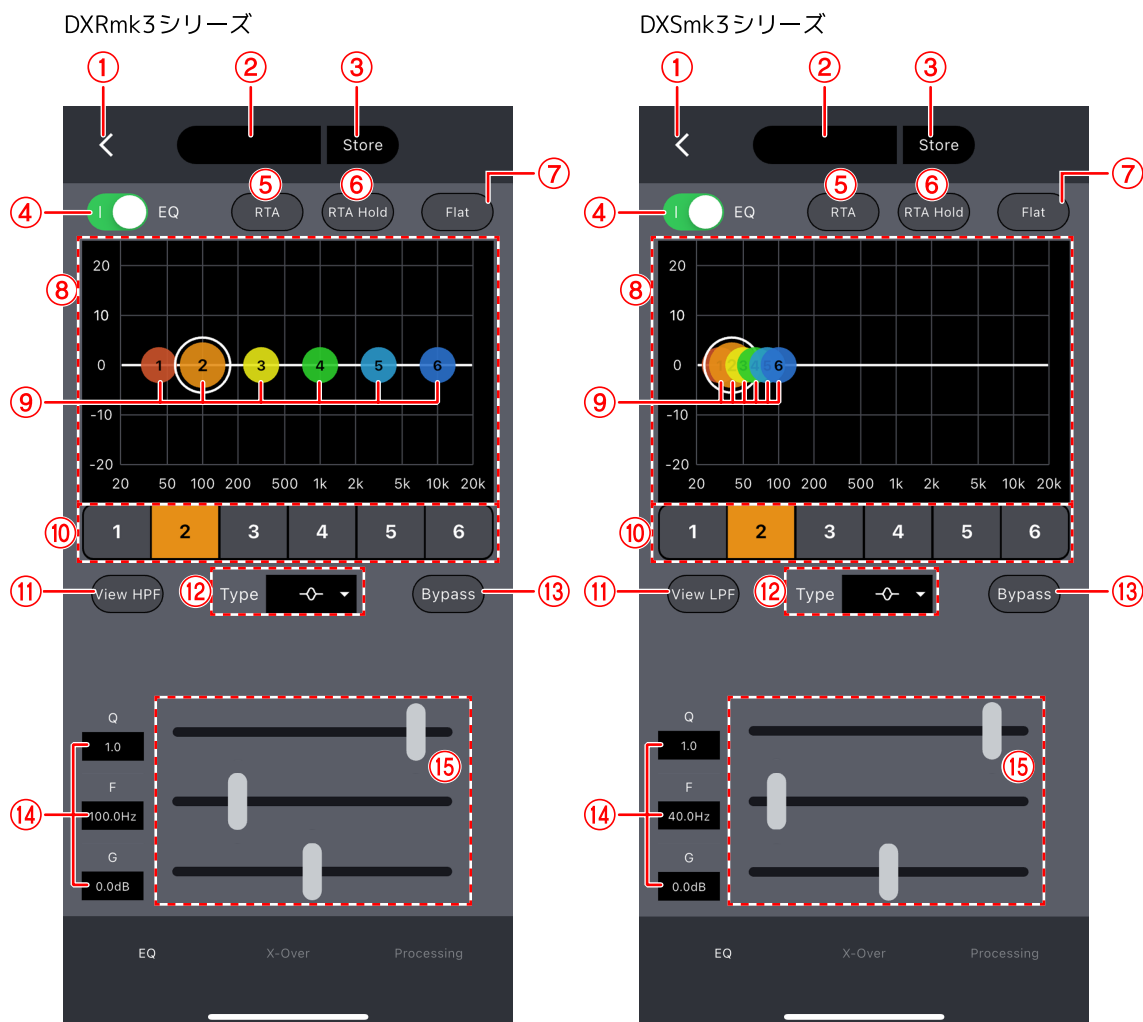
② モード選択ボタン

Link Modeを切り替えます。

6.2.5. 6バンドEQ



DXRmk3シリーズから出力される音声信号（OUTPUT 1端子を除く）、およびDXSmk3シリーズから出力される音声信号に対して、6バンドEQを設定します。

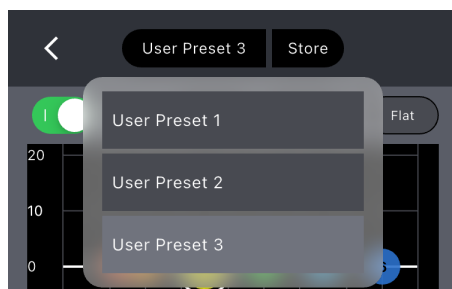


① 戻るボタン

タップすると、前の画面に戻ります。

② プリセット

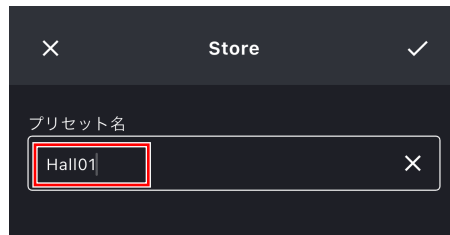
タップすると、保存されているプリセットが表示されます。読み出したいプリセットをタップして読み出します。



- ・ 読み出すプリセットが無い場合は、[Store]ボタンを使ってプリセットを保存してください。

③ Storeボタン

タップすると、Store画面を表示します。現在の設定に名前を付けてスロットに保存できます。



④ [EQ]スイッチ

イコライザーのオン/オフを設定します。

⑤ [RTA]ボタン

タップすると、RTAグラフの表示をオン/オフします。

⑥ [RTA Hold]ボタン

タップすると、その時点のRTAグラフを静止して表示します。RTA Holdの表示方法は[RTA設定画面](#)で変更できます。

⑦ [Flat]ボタン

タップすると、すべてのバンドのゲインを0に設定します。

⑧ EQグラフ

特性をグラフに表示します。

⑨ バンドハンドル

- ・ **ドラッグ**：EQグラフ上でハンドルをドラッグすると、Qパラメーター以外の各パラメーターを調整します。
- ・ **ピンチイン/ピンチアウト**：EQグラフ上でピンチイン/ピンチアウトすると、Qパラメーターを調整します。

⑩ バンド選択ボタン

パラメーターを調整するバンドを選択します。

⑪ [View HPF] / [View LPF]ボタン

[X-Over HPF](#)または[X-Over LPF](#)をEQグラフに表示するかしないかを設定します。

⑫ EQタイプリストボックス

各バンドに設定するフィルターのタイプを選択します。

⑬ [Bypass]ボタン

各バンドでバイパスするかしないかを設定します。ボタンをクリックして点灯させたバンドをバイパスします。

⑭ パラメーター現在値表示

各パラメーターの現在の値を表示します。タップすると、数値を直接入力できます。

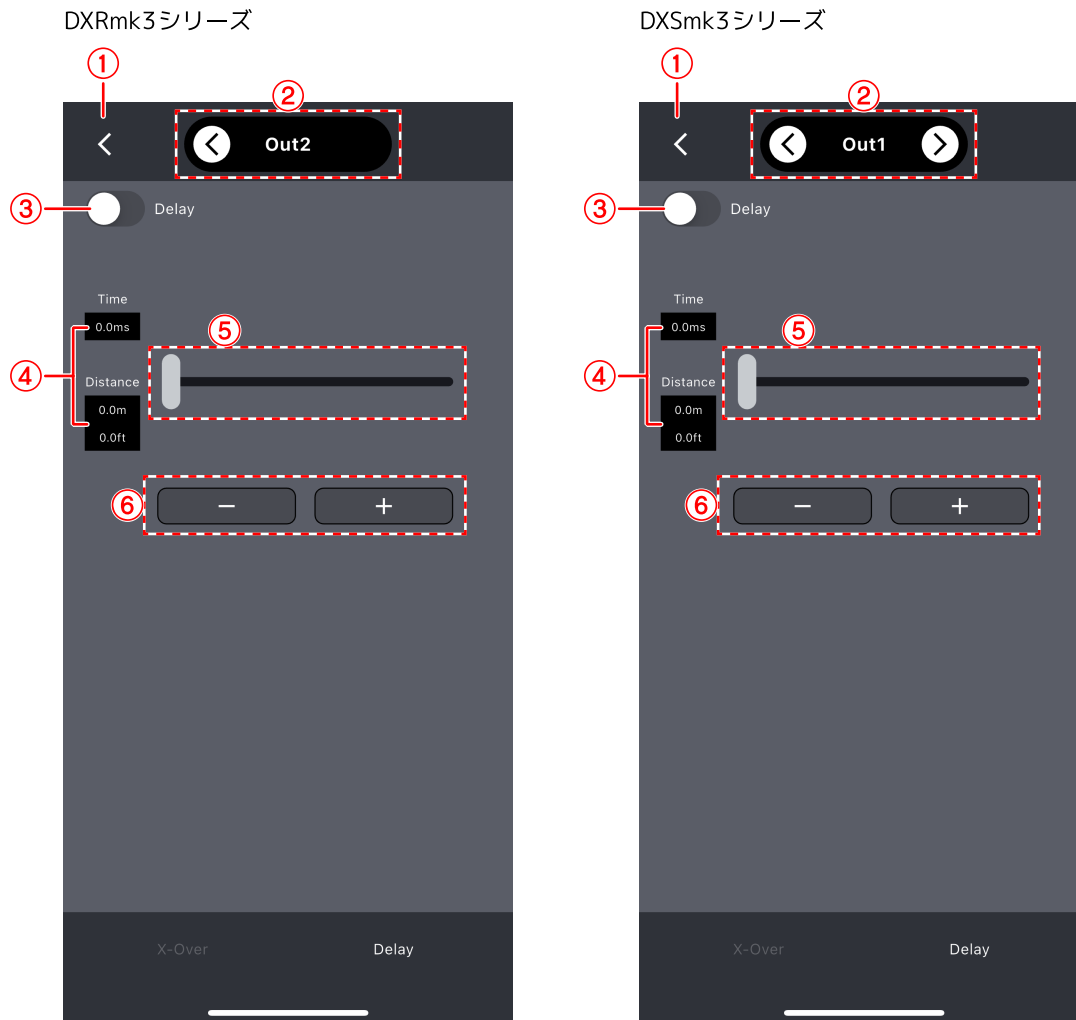
⑮ スライダー

スライダーをドラッグして各パラメーターの値を変更します。

6.2.6. Delay



DXRmk3シリーズから出力される音声信号（スピーカー、OUTPUT 1を除く）、およびDXSmk3シリーズから出力される音声信号（スピーカーを除く）に対して、ディレイを設定します。



① 戻るボタン

タップすると、前の画面に戻ります。

② チャンネル表示、◀ / ▶ ボタン

チャンネル名を表示します。◀ / ▶ ボタンで表示するチャンネルを切り替えます。

③ [Delay]スイッチ

Delayのオン/オフを設定します。

④ パラメーター現在値表示

各パラメーターの現在の値を表示します。タップすると、数値を直接入力できます。

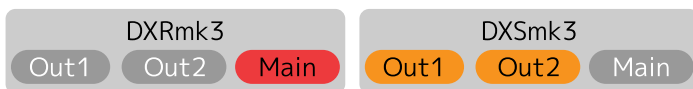
⑤ スライダー

スライダーをドラッグして各パラメーターの値を変更します。

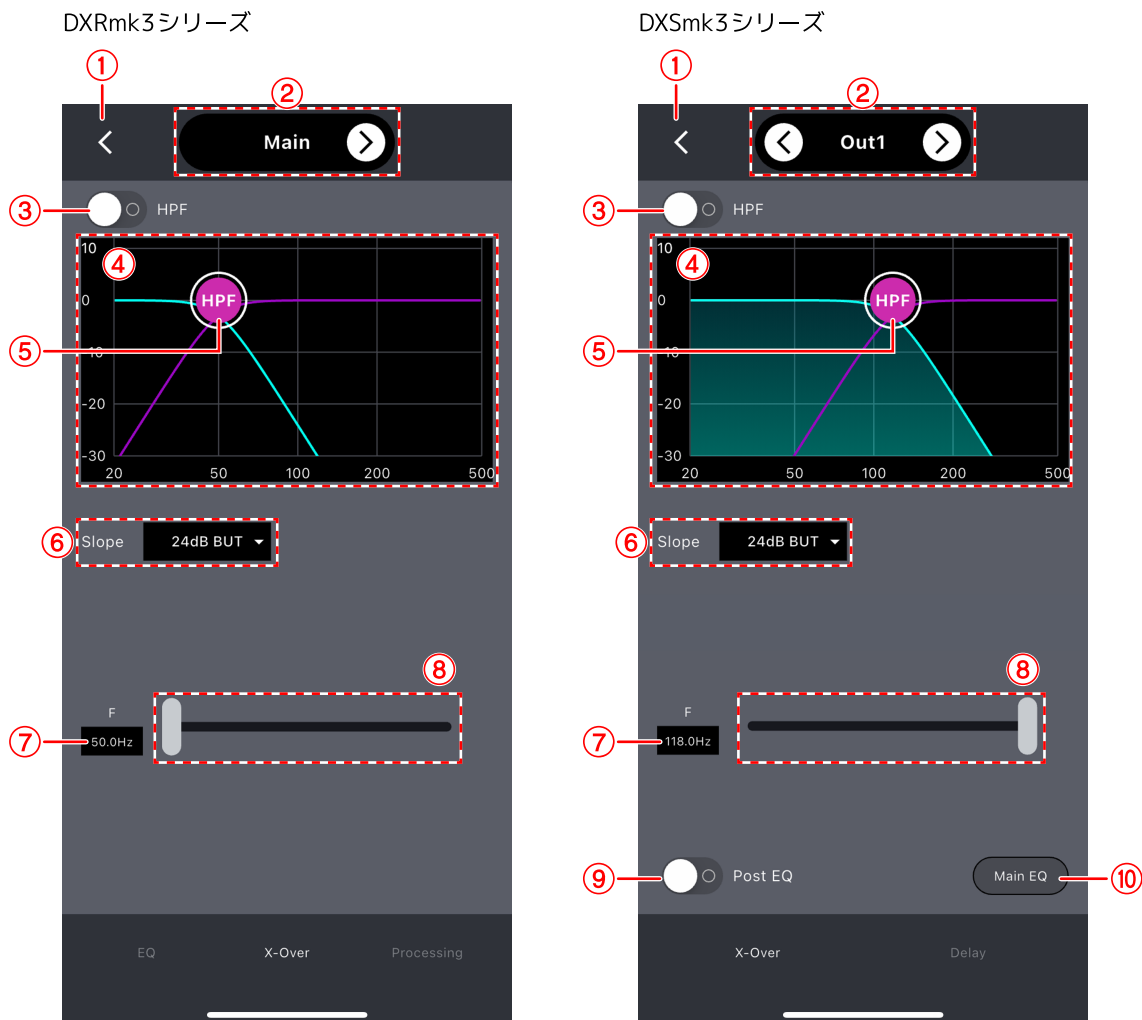
⑥ +/-ボタン

タップすると、パラメーターの値を増減します。

6.2.7. X-Over HPF



DXRmk3シリーズから出力される音声信号（OUTPUT 1、OUTPUT 2を除く）、およびDXSmk3シリーズから出力される音声信号（スピーカーを除く）に対して、クロスオーバーハイパスフィルターを設定します。



① 戻るボタン

タップすると、前の画面に戻ります。

② チャンネル表示、◀ / ▶ ボタン

チャンネル名を表示します。◀ / ▶ ボタンで表示するチャンネルを切り替えます。

③ [HPF]スイッチ

HPFのオン/オフを設定します。

④ X-Over HPFグラフ

X-Over HPF設定をグラフに表示します。

⑤ バンドハンドル

- ・ **ドラッグ**：ハンドルをドラッグすると、ハイパスフィルターのカットオフ周波数を調整します。

⑥ スロープリストボックス

ハイパスフィルターに設定するスロープを選択します。

⑦ パラメーター現在値表示

各パラメーターの現在の値を表示します。タップすると、数値を直接入力できます。

⑧ スライダー

スライダーをドラッグしてパラメーターの値を変更します。

⑨ [Post EQ]スイッチ

有効にすると、Main EQを通した後の音声信号をHPFに通します。

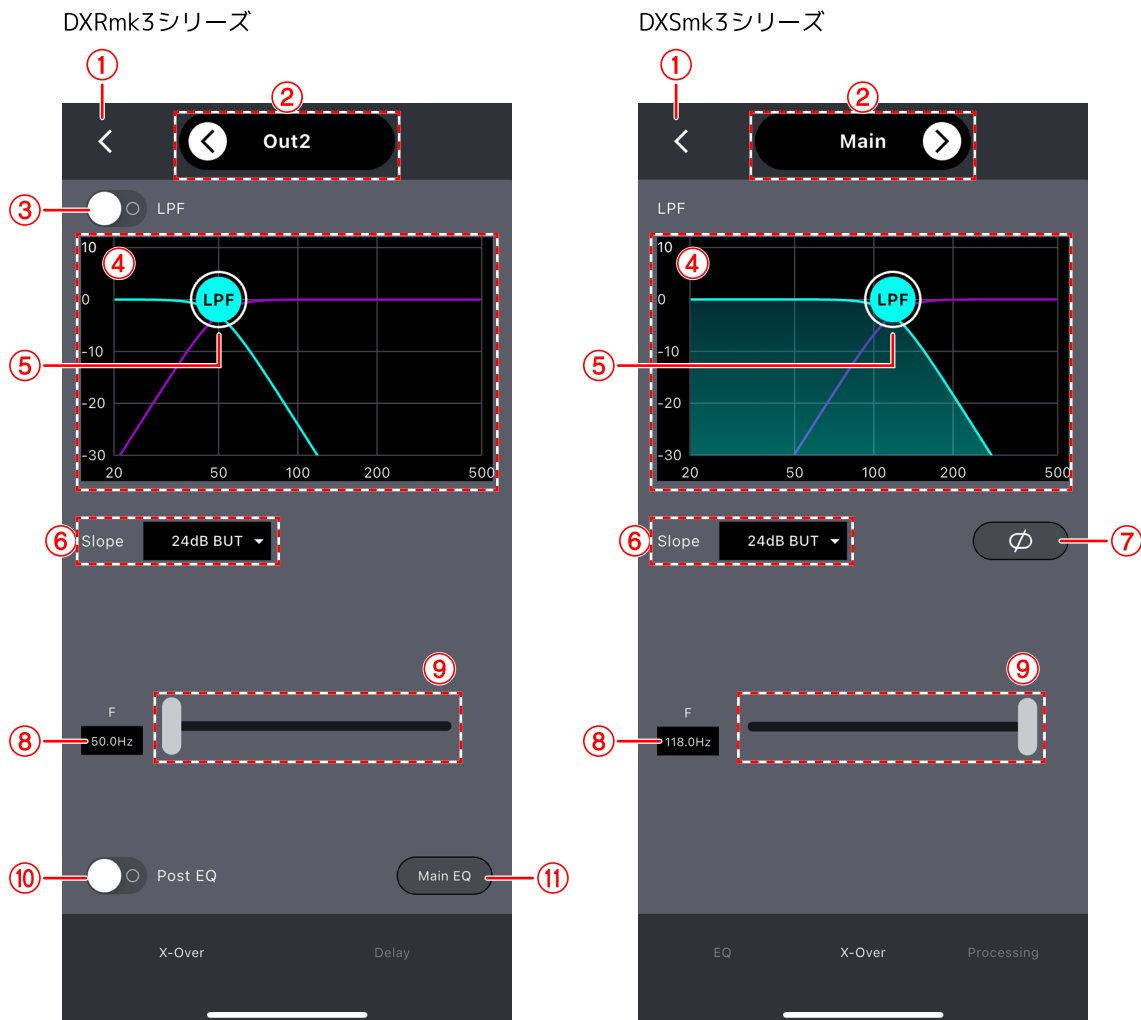
⑩ [Main EQ]ボタン

タップすると、Main EQ画面を表示します。

6.2.8. X-Over LPF



DXRmk3シリーズから出力される音声信号（スピーカー、OUTPUT 1を除く）、およびDXSmk3シリーズから出力される音声信号（OUTPUT 1、OUTPUT 2を除く）に対して、クロスオーバーローパスフィルターを設定します。



① 戻るボタン

タップすると、前の画面に戻ります。

② チャンネル表示、◀ / ▶ ボタン

チャンネル名を表示します。◀ / ▶ ボタンで表示するチャンネルを切り替えます。

③ [LPF]スイッチ

LPFのオン/オフを設定します。

④ X-Over LPFグラフ

X-Over LPF設定をグラフに表示します。

⑤ バンドハンドル

- ・ドラッグ：ハンドルをドラッグすると、ローパスフィルターのカットオフ周波数を調整します。

⑥ スロープリストボックス

ローパスフィルターに設定するスロープを選択します。

⑦  : Polarityボタン

タップすると、極性を反転します。

⑧ パラメーター現在値表示

各パラメーターの現在の値を表示します。タップすると、数値を直接入力できます。

⑨ スライダー

スライダーをドラッグしてパラメーターの値を変更します。

⑩ [Post EQ]スイッチ

有効にすると、Main EQを通した後の音声信号をHPFに通します。

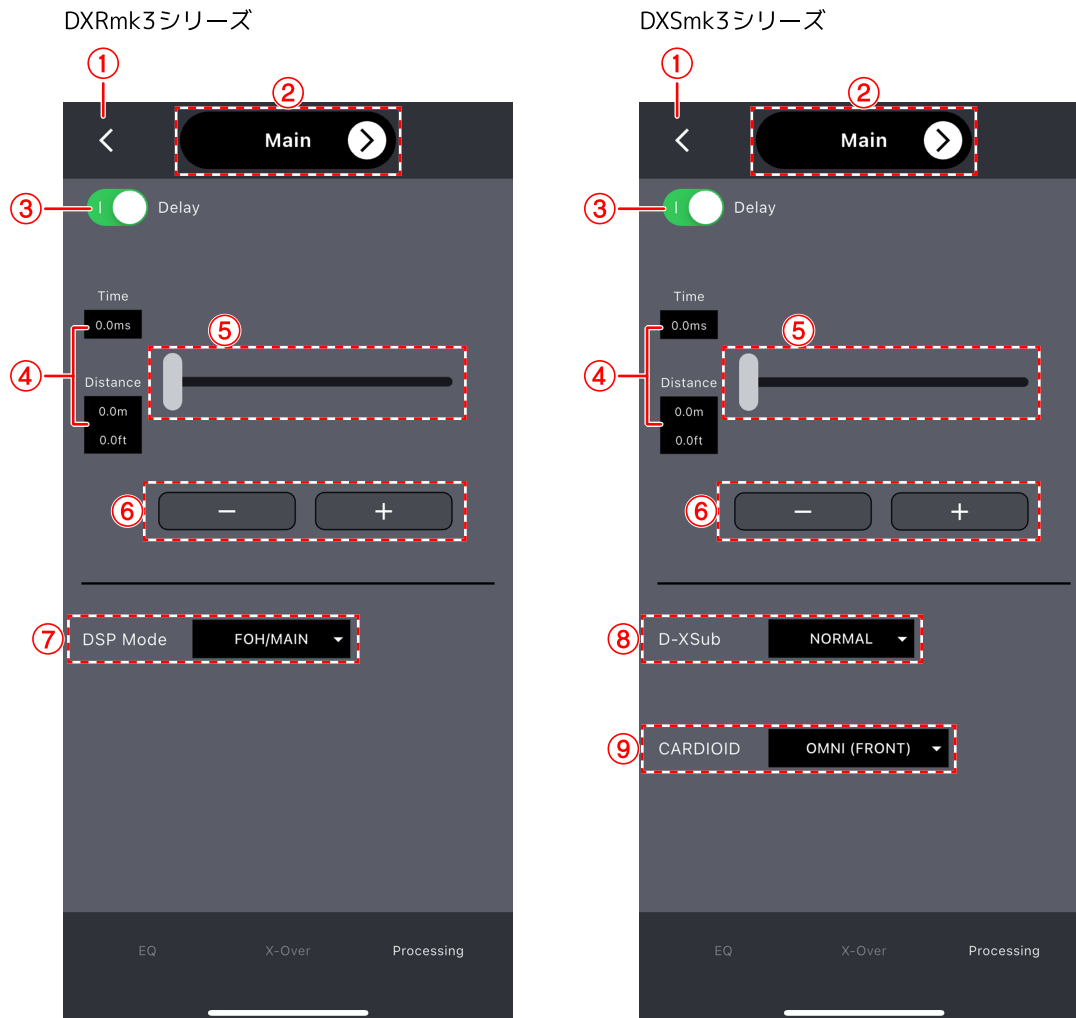
⑪ [Main EQ]ボタン

タップすると、Main EQ画面を表示します。

6.2.9. Processing



DXRmk3シリーズ、およびDXSmk3シリーズのスピーカーから出力される音声信号に対して、プロセッシング処理を行うかどうかを設定します。



① 戻るボタン

タップすると、前の画面に戻ります。

② チャンネル表示、◀ / ▶ ボタン

チャンネル名を表示します。◀ / ▶ ボタンで表示するチャンネルを切り替えます。

③ [Delay]スイッチ

Delayのオン/オフを設定します。

④ パラメーター現在値表示

各パラメーターの現在の値を表示します。タップすると、数値を直接入力できます。

⑤ スライダー

スライダーをドラッグしてパラメーターの値を変更します。

⑥ -/+ボタン

タップすると、パラメーターの値を増減します。

⑦ [DSP Mode]リストボックス

DSPモードに設定するモードを選択します。

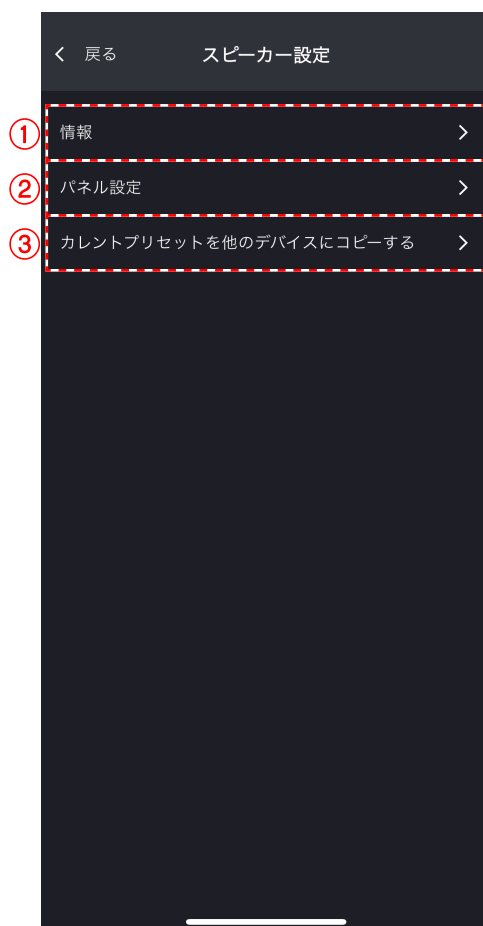
⑧ [D-XSub]リストボックス

D-XSubに設定するモードを選択します。

⑨ [CARDIOID]リストボックス

CARDIOIDに設定するモードを選択します。

6.3. スピーカー設定画面



① 情報

タップすると、[情報画面](#)を表示します。

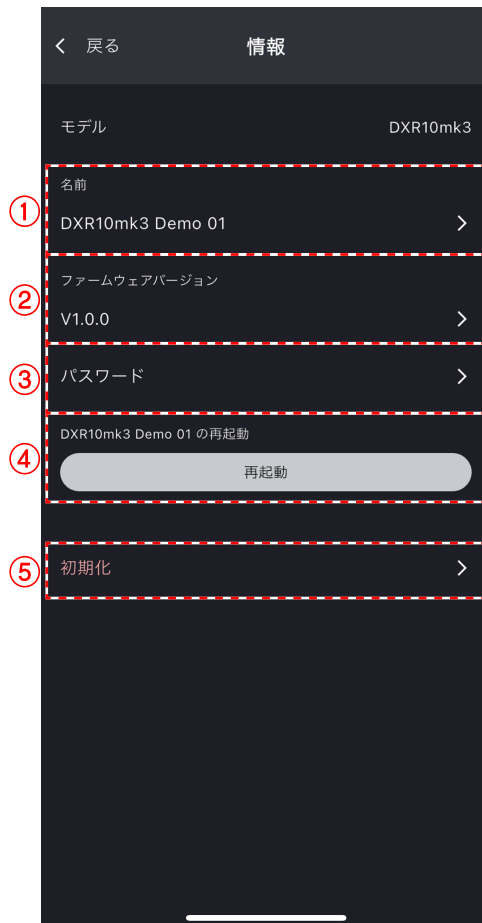
② パネル設定

タップすると、[パネル設定画面](#)を表示します。

③ カレントプリセットを他のデバイスにコピーする

タップすると、[カレントプリセットのコピー画面](#)を表示します。

6.3.1. 情報画面



① 名前

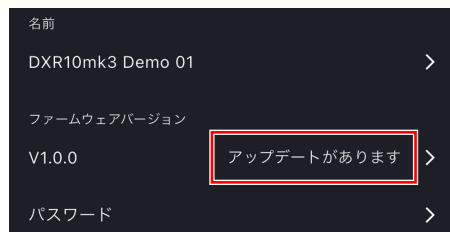
タップすると、スピーカー名の設定画面を表示します。[スピーカーの名前を変更する](#)をご参照ください。

② ファームウェアバージョン

タップすると、現在のファームウェアのバージョンを表示します。

NOTE

[アップデートがあります]と表示されている場合は、[ファームウェアアップデート画面](#)をご参照ください。



③ パスワード

タップすると、パスワードの設定画面を表示します。[パスワードを変更する](#)をご参照ください。

④ [再起動]ボタン

タップすると、再起動の確認画面を表示します。



- ・ [再起動]をタップすると、スピーカーを再起動します。

⑤ 初期化

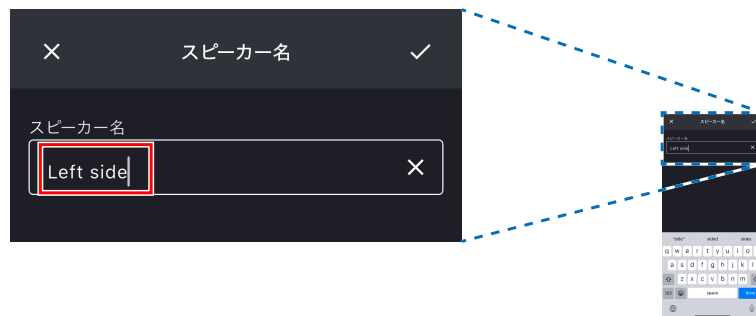
タップすると、初期化画面を表示します。[スピーカーを初期化する](#)をご参照ください。

スピーカーの名前を変更する

1. 情報画面でスピーカーの名前をタップします。



2. 任意のスピーカー名を入力して確定します。



スピーカーの名前が変更されます。

NOTE

スピーカー名に使用できる文字の種類には制限があります。

パスワードを変更する

1. 情報画面で[パスワード]をタップします。



2. 4文字から16文字のパスワードを入力し、[次へ]をタップします。



3. パスワードを入力し[確認]をタップします。



パスワードが変更されます。

スピーカーを初期化する

1. 情報画面で[初期化]をタップします。



2. 初期化する内容にチェックを入れます。



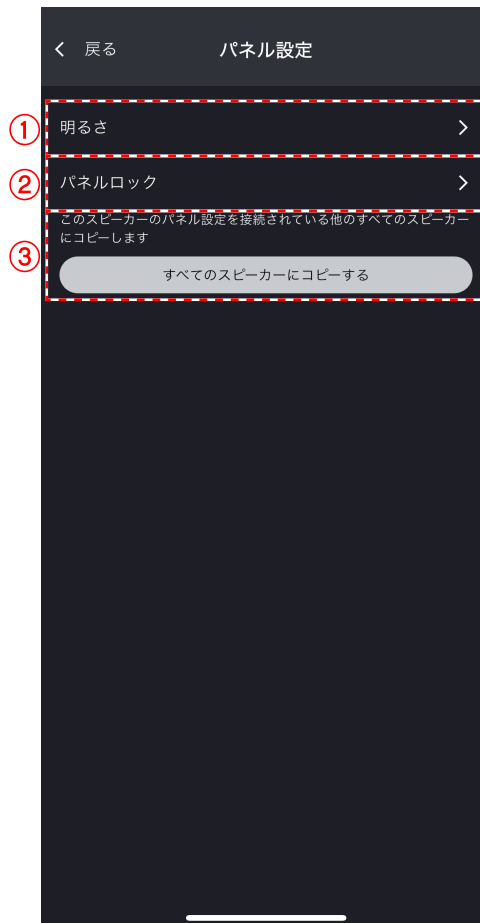
- **ユーザープリセット**：ユーザーが設定したスピーカー設定がすべて削除されます。
- **Bluetooth接続設定**：パスワードを含むBluetooth接続設定が削除されます。

3. [初期化]ボタンをタップします。



初期化が実行されます。

6.3.2. パネル設定画面



① **明るさ**

タップすると、明るさの設定画面を表示します。[スピーカーのパネルの明るさを変更する](#)をご参照ください。

② **パネルロック**

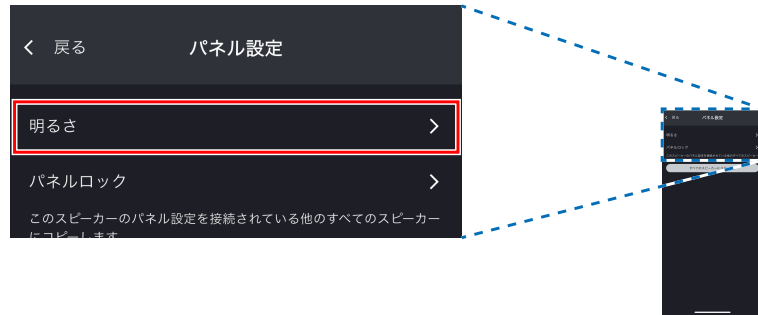
タップすると、パネルロック画面を表示します。[スピーカーのパネルをロックする](#)をご参照ください。

③ **[すべてのスピーカーに設定する]ボタン**

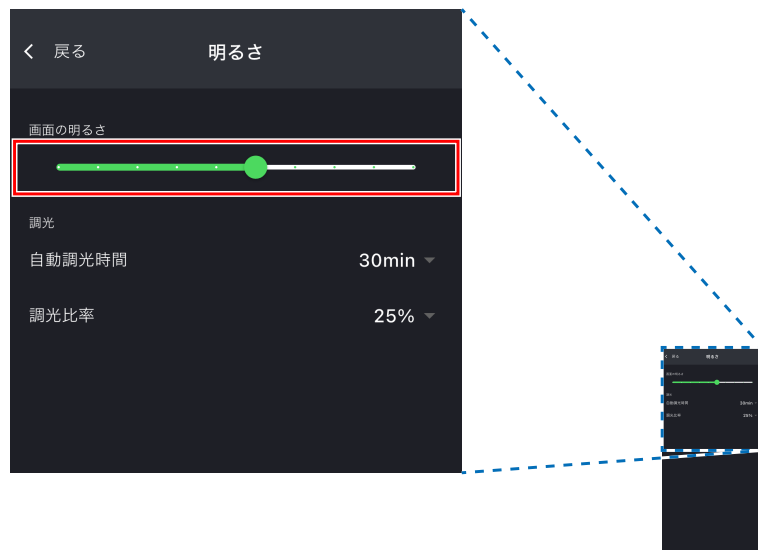
タップすると、パネル設定画面で設定した内容を現在接続中のすべてのスピーカーに設定します。

スピーカーのパネルの明るさを変更する

1. パネル設定画面で、[明るさ]をタップします。



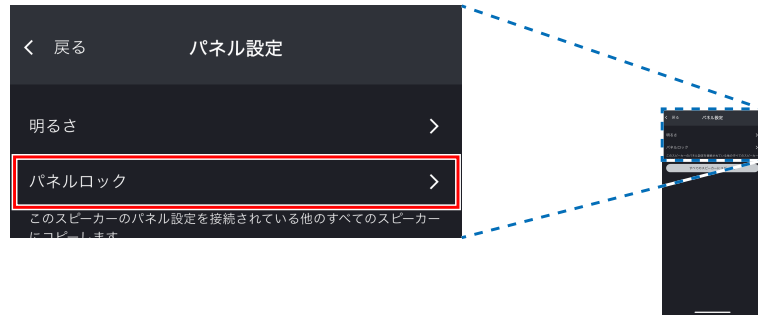
2. スライダーを操作して画面の明るさを調節し、必要に応じてその他の項目を設定します。



- **画面の明るさ**：画面の明るさを設定します。
 - **自動調光時間**：調光を開始するまでの時間を設定します。
 - **調光比率**：調光の比率を設定します。
3. [戻る]ボタンをタップします。
明るさの設定が変更されます。

スピーカーのパネルをロックする

1. パネル設定画面で、[パネルロック]をタップします。



2. [自動ロック時間]リストボックスでパネルをロックするまでの時間を設定し、必要に応じてその他の項目を設定します。

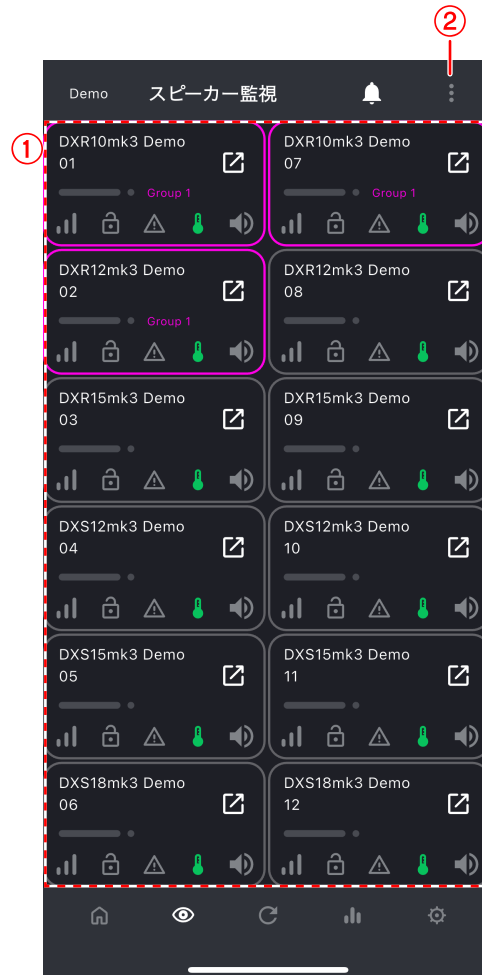


- **自動ロック時間**：パネルをロックするまでの時間を設定します。
 - **ロックモード**：パネルロックのモードを設定します。
 - **PINを有効にする**：有効にすると、パネルロックを解除するときにPINの入力が必要になります。
 - **PINの設定**：パネルロックを解除するためのPINを設定します。
3. [戻る]ボタンをタップします。
パネルロックの設定が変更されます。

7. スピーカー監視画面

NOTE

運用中や本番中はこの画面だけを開いておくことを推奨します。



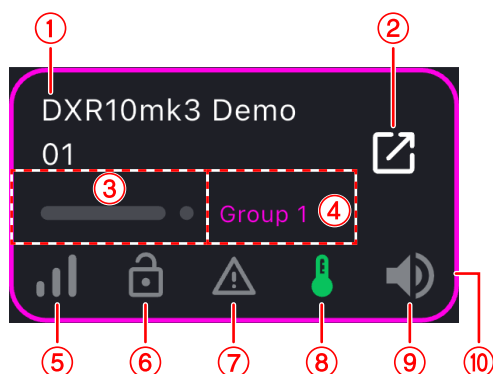
① スピーカー一覧表示

接続されているすべてのスピーカーのステータスを表示します。

② メニューボタン

タップすると、メニュー画面を表示します。[メニュー画面](#)をご参照ください。

7.1. スピーカーごとの表示内容



① スピーカー名

任意でつけたスピーカー名を表示します。

② : ミキサー画面を表示ボタン

③ 出力レベルメーター、LIMITインジケーター

スピーカー出力の音量をリアルタイムにステレオ表示します。インジケーターはリミッターがかかったときに、赤で点灯します。

④ グループ名

スピーカーがグループに登録されている場合は、グループ名が表示されます。[グループ作成画面](#)をご参照ください。

⑤ : Bluetooth電波

Bluetoothの電波の強さを表示します。

⑥ : パネルロック

スピーカーのパネルのロック状況を表示します。

⑦ : アラート

アラート通知の有無を表示します。[通知画面](#)をご参照ください。

⑧ : 温度

スピーカーの温度を表示します。

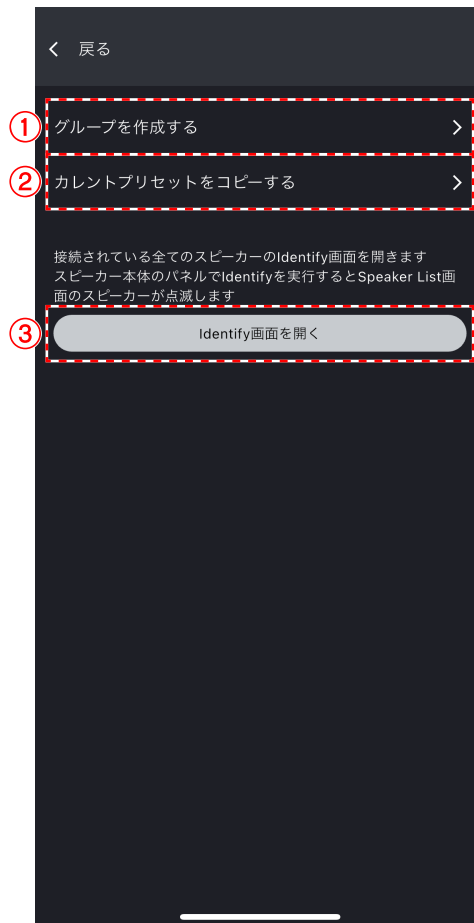
⑨ : ミュートボタン

ミュートのオン/オフ状態を表示します。

⑩ グループ枠

スピーカーがグループに登録されている場合は、グループの色の枠が表示されます。[グループ作成画面](#)をご参照ください。

7.2. メニュー画面



① グループを作成する

タップすると、[グループ作成画面](#)を表示します。

② カレントプリセットをコピーする

タップすると、[カレントプリセットのコピー画面](#)を表示します。

③ [Identify画面を開く]ボタン

タップすると、D-Remoteと接続されているすべてのスピーカーのパネルにIdentify画面を表示します。スピーカー本体で[Identify]を押すと、D-Remoteのスピーカーリスト画面で該当するスピーカーがしばらく点滅します。

7.2.1. グループ作成画面

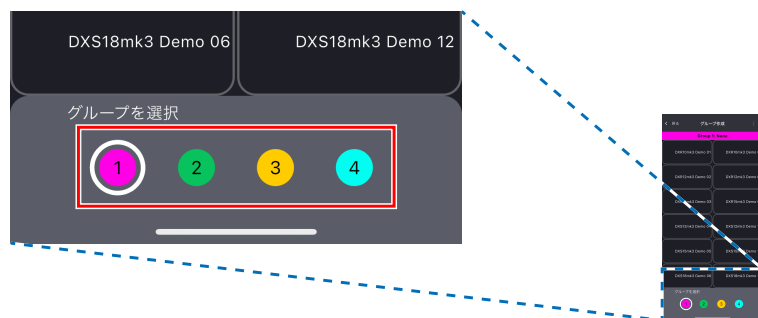
複数のスピーカーをまとめてグループを作成したり、作成したグループの名前を変更したり、グループを解除したりすることができます。

グループを作成する

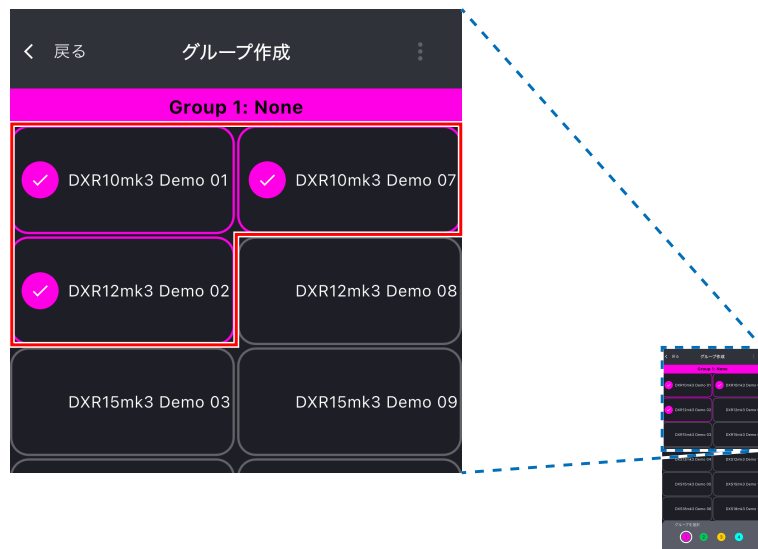
1. [グループを作成する]をタップします。



2. グループの番号を選択します。



3. グループに追加したいスピーカーをタップします。



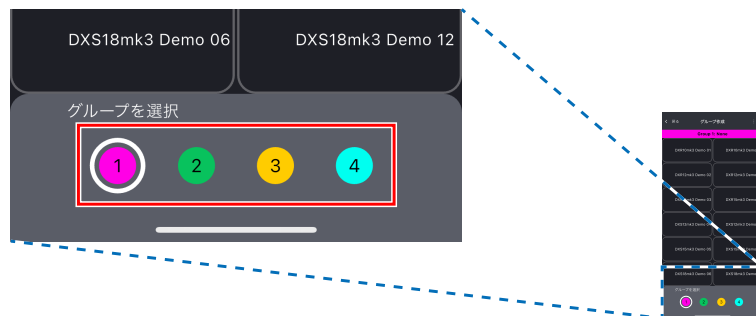
4. [戻る]ボタンをタップします。
グループが作成されます。

グループ名を変更する

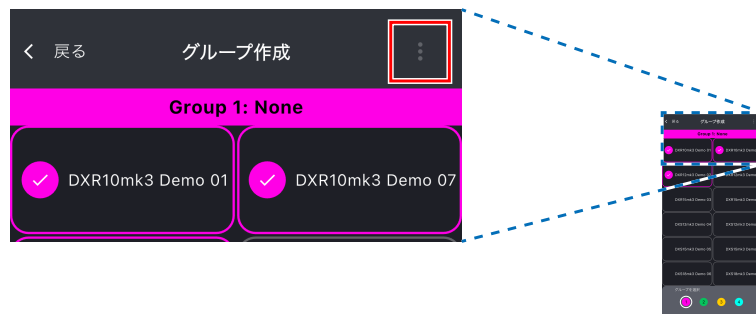
1. [グループを作成する]をタップします。



2. グループの番号を選択します。



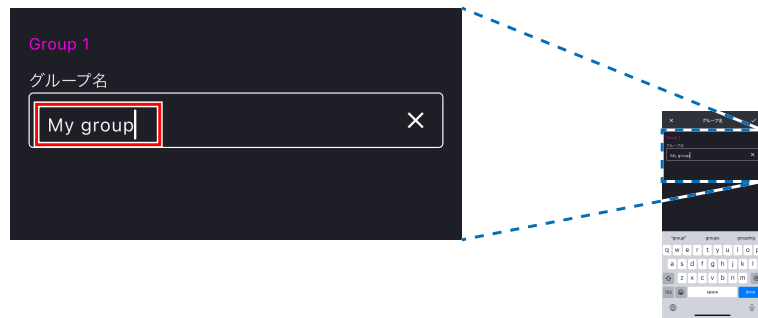
3. メニューボタンをタップします。



4. [グループ名を変更する]をタップします。



5. 任意のグループ名を入力して確定します。



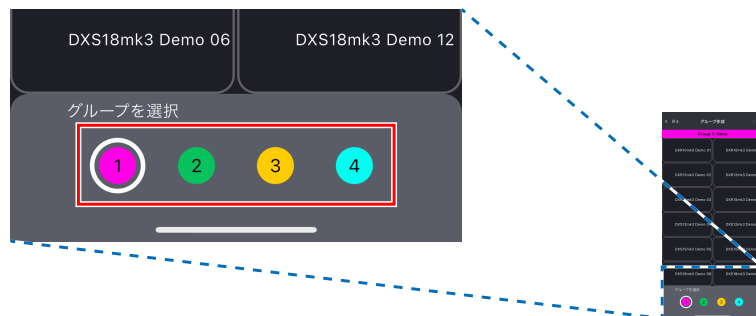
6. [戻る]ボタンをタップします。
グループ名が変更されます。

グループを解除する

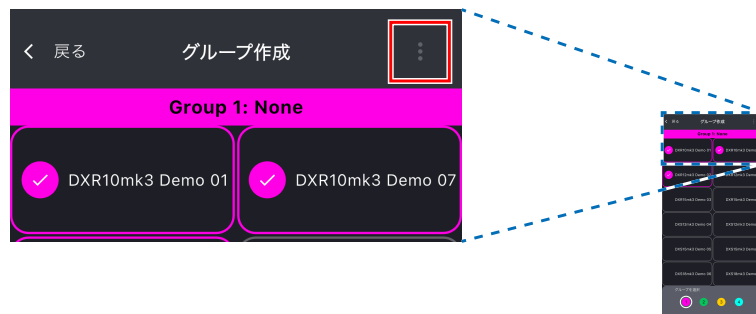
1. [グループを作成する]をタップします。



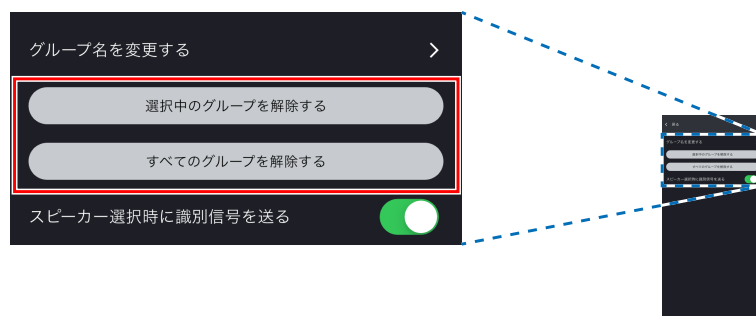
2. グループの番号を選択します。



3. メニューボタンをタップします。



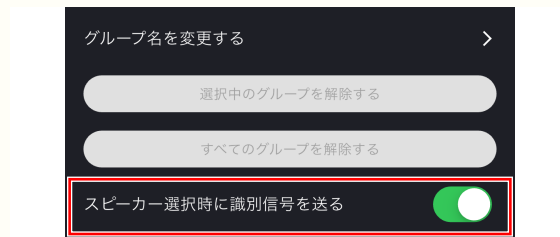
4. [選択中のグループを解除する]または[すべてのグループを解除する]をタップします。



5. 確認画面が表示されるので[はい]をタップします。
グループが解除されます。

 NOTE

[スピーカー選択時に識別信号を送る]を有効にすると、グループを作成する画面でスピーカーをタップしたとき、スピーカー本体のパネルがしばらく点滅します。

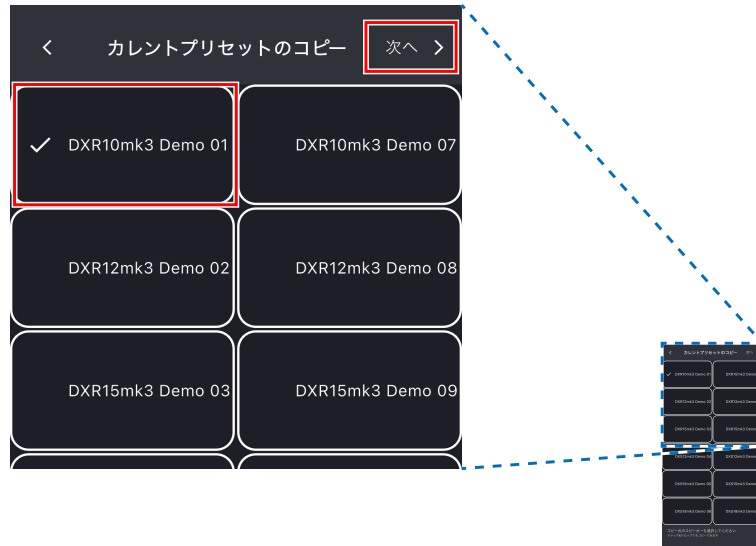


7.2.2. カレントプリセットのコピー画面

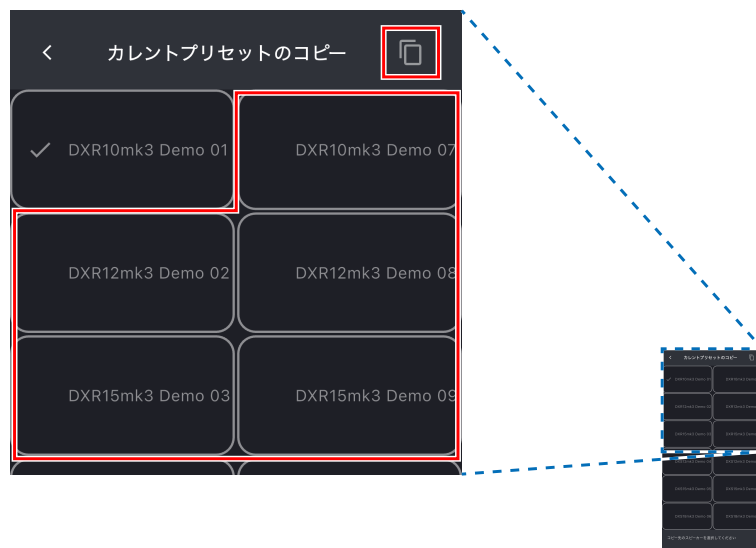
コピー元のスピーカーに設定されている内容を、コピー先のスピーカーにペーストすることができます。

カレントプリセットをコピーする

1. コピー元のスピーカーを選択し、[次へ]をタップします。

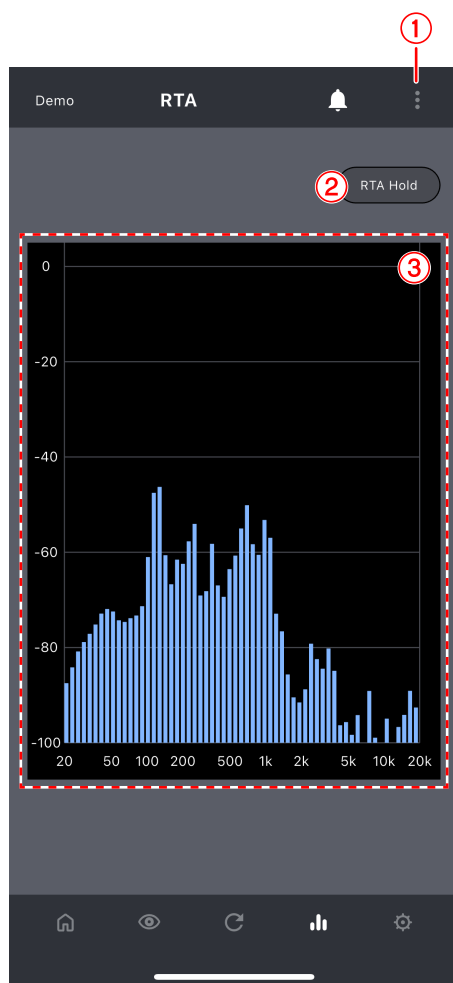


2. コピー先のスピーカーを選択し、[]ボタンをタップします。



コピー元のスピーカーに設定されている内容が、コピー先のスピーカーにコピーされます。

8. RTA画面



① メニューボタン

タップすると、[RTA設定画面](#)を表示します。

② [RTA Hold]ボタン

タップすると、その時点でグラフに表示されている内容を静止して表示します。

③ RTAグラフ

モバイル端末のマイクに入力された音声をリアルタイムでグラフ表示します。

8.1. RTA設定画面



① [マイク選択]リストボックス

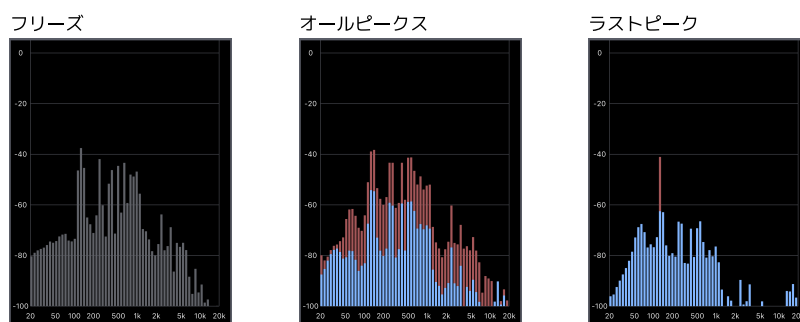
入力音声の測定に使用するマイクを選びます。

NOTE

D-Remote を起動しているデバイス（スマートフォンやタブレット）の内蔵マイクロフォンのみ選択可能です。

② [Peak Hold Mode]リストボックス

ピークホールドモードを選びます。



③ [Input Gain]リストボックス

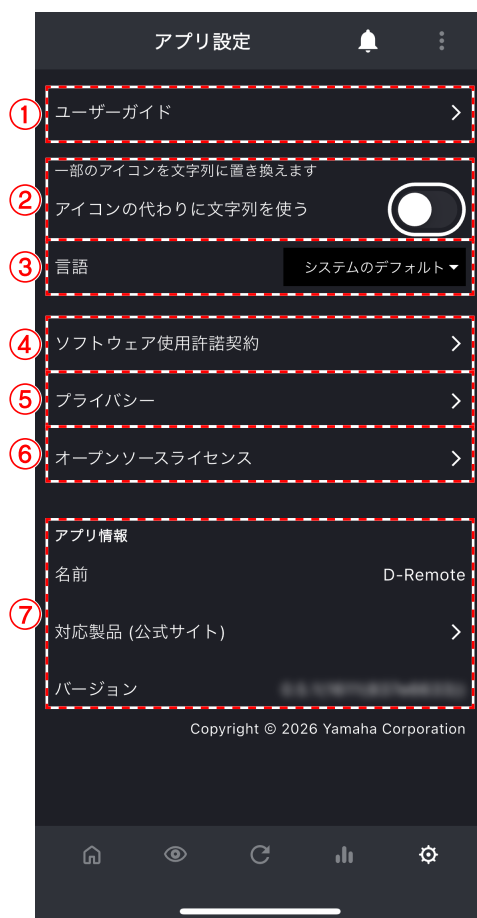
入力音声のゲインを選びます。

④ [Number of Bands]リストボックス

RTAグラフに表示する棒グラフの本数を選びます。

9. アプリ設定画面

D-Remoteのアイコン表示設定、言語設定、ライセンス情報、バージョン情報などを表示します。



① ユーザーガイド

タップすると、本アプリのユーザーガイドを表示します。

② アイコンの代わりに文字列を使う

有効にすると、一部のアイコンを文字列に置き換えます。

③ [言語設定]リストボックス

本アプリで使用する言語を選択します。

④ ソフトウェア使用許諾契約

タップすると、ソフトウェア使用許諾契約情報を表示します。

⑤ プライバシー

タップすると、プライバシー情報を表示します。

⑥ オープンソースライセンス

タップすると、本アプリで使用しているオープンソースソフトウェアライセンス情報を表示します。

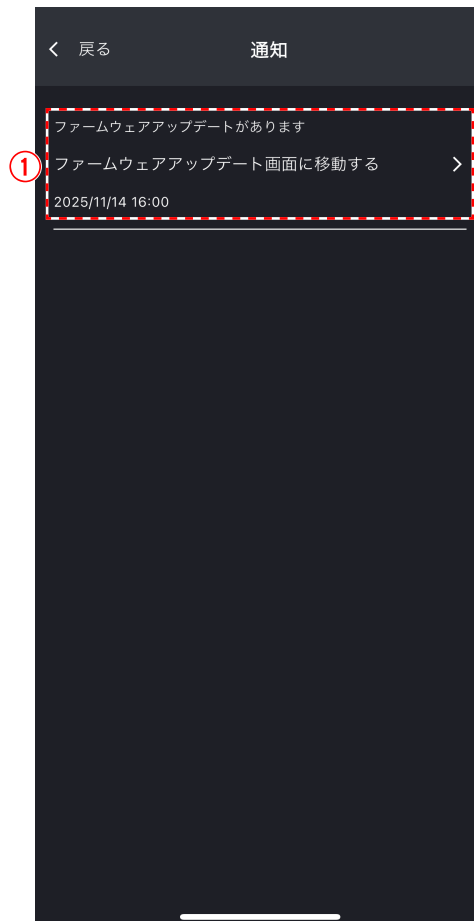
⑦ アプリ情報

本アプリのバージョンやビルド番号などを表示します。

10. 通知画面

接続されているスピーカーや本アプリ内の通知を表示します。通知は以下のような場合に表示されます。

- ・ スピーカーの温度が上昇したとき
- ・ Bluetoothに関するエラーがあるとき
- ・ スピーカーで過大電流が検知されたとき
- ・ スピーカーのファームウェアにアップデートがあるとき
- ・ 本アプリの内容にアップデートがあるとき



① 通知表示エリア

通知を表示します。> をタップすると、通知に関連する操作画面が表示されます。

10.1. ファームウェアアップデート画面

スピーカーのファームウェアをアップデートします。

NOTE

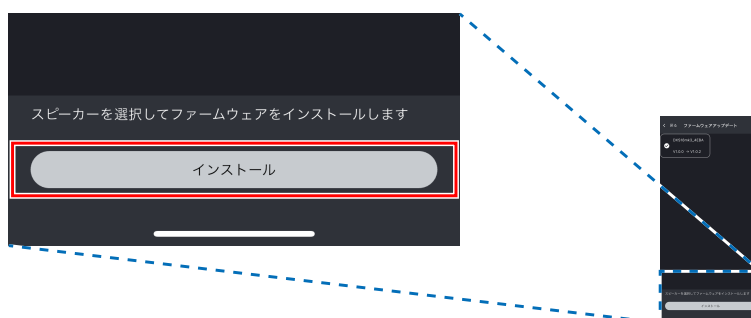
ファームウェアのアップデートは、複数台のスピーカーで同時に実行することができます。

10.1.1. ファームウェアをアップデートする

1. ファームウェアをアップデートするスピーカーを選択します。



2. [インストール]をタップします。



ファームウェアのインストールが始まります。

NOTE

ファームウェアのアップデートには、平均して15分ほど時間がかかります。時間に余裕をもって行ってください。

接続している電波の状態や周囲の環境によっては、アップデートが正常に完了しない場合があります。

そのような場合は、まず本体に近づいてアップデートしてください。

それでもうまくいかない場合は、スピーカー本体の電源を落とし、場所や時間帯を変えて再度アップデートしてください。

© 2026 Yamaha Corporation

2026年4月 発行

HS-A0